

一関工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	国語ⅡB	
科目基礎情報							
科目番号	0062		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	未来創造工学科 (一般科目)		対象学年		2		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	新編現代文B改訂版、精選古典B改訂版、プリント表現の厳密さを求めた						
担当教員	渡辺 仁史						
到達目標							
日本語・日本文化の歴史的な展開と海外からの影響について古典を通して学習し、併せて日本近代の代表的文学作品を精読する。 教育目標B、E							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	漢文・古文の訓読・解釈ができる		漢文・古文の訓読ができる		漢文・古文の訓読ができない		
評価項目2	日本語の歴史と文法の概要がわかる		日本語の文法がわかる		日本語の文法がわからない		
評価項目3	資料を参照しながら小説の読解ができる		小説の文面の範囲で小説が読解できる		小説が読解できない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	表現の厳密さを求めた教材をもとに、日本語・日本文化を歴史的に把握し、母語としての日本語による認識・表現能力を向上させることをめざす。						
授業の進め方・方法	講義及び講義内容に関する演習、並びに古典についての講読を行う。						
注意点	評価方法・評価基準：定期試験及びレポートにより日本語の習熟度、並びに日本文化に関する知識を主として読む・書くの観点から評価する。 事前学習：平素から読書を欠かさないこと。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	漢文訓読の規則について説明		返り点の規則がわかる		
		2週	漢文訓読の規則		返り点の規則がわかり漢文を訓読できる		
		3週	漢詩を読む		漢詩の鑑賞の方法がわかる		
		4週	漢文の歴史書を読む		中国文化の日本文化への影響がわかる		
		5週	漢文の思想書を読む		中国文化の日本文化への影響がわかる		
		6週	外国語との関係から日本語の歴史的展開を学ぶ		日本語の歴史的変遷がわかる		
		7週	短歌とはどのような言語芸術かがわかる		短歌を詠むことができる		
		8週	連携授業		SDG s について考える		
	4thQ	9週	注釈を参照しつつ古文を読む		古文の読み方がわかる		
		10週	注釈を参照しつつ古文を読む		古文の読み方がわかる		
		11週	長編小説を読む		長編小説の読み方がわかる		
		12週	長編小説を読む		演習を通して長編小説の読み方がわかる		
		13週	長編小説を読む (付 短編小説を読む)		演習を通して長編小説の読み方がわかる		
		14週	日本語の変遷		日本語の変遷がわかる		
		15週	定期試験				
		16週	達成度の点検 (付 短歌の講評)		学習内容を再点検する		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2		
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	2		
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	2		
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2		
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2		
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2		
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	2		
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	2		
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	2		
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2		
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2		
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	2		
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2		

				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2		
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2		
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2		
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2		
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2		
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2		
評価割合							
	試験100	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0